

会員のひろば

■ シルバー清掃作業にて

林 紀美子(里)

私は、精華町シルバー人材センターにお世話になり今年で10年を迎えることが出来ました。仕事は、役場の清掃作業一筋です。

当初、チーフ以外は女性ばかりで、A班6人チーフ1人、B班6人チーフ1人で月・水・金と火・木・土・日に分かれ交互に清掃しておりましたが、最近では男性の方が増え女性、男性半々の人数になり 時代は変わりつつある今日です。

「安全のことば」「ラジオ体操」から始まり作業内容は1階から6階まで各階フロア、各部屋、階段、トイレ、ゴミ上げ等と、みなさん頑張っておられます。

早めに清掃が終わる日があれば、ミーティング、意見交換、雑談等して又その日のストレス発散にもつながり仕事を終わることができます。この度、精華町シルバー人材センターの適正就業基準の適用を受け、私もいつまでお世話になれるか分かりませんが、その日迄健康であれば、作業にまっとうしたく思っております。それが健康にもつながり、運動を兼ねた清掃作業だと自分に云い聞かせ、日々頑張っております。



■ 小春日和

前田眞千代(東畑)

今日は11月26日、昨日の荒れた天候と打って変わって小春日和のいい天気になった。この「小春日和」という言葉、何ともほんわかとした陽射しを伝える言葉としてこれまで使ってきたが、その意味をちゃんと理解したのは、恥ずかしながら、実はつい最近のことである。

今年の春ごろ、お一なり由子の「ひらがな暦」なる本を古本屋で何となく目にして買った。毎日就寝前に1頁ずつ読んでいたが、ほっと幸せな気持ちになれるよい本である。その本の11月2日には「小春日和」という表題がついていて、下欄にその説明が載っている。「11月の翡翠色の晴れた空」と。

そうか、11月の晴れた空だったのか！ もう少し詳しく知りたくなって辞書を引いてみた。小春：陰暦10月の別称。ますますはっきりしてきた。陰暦10月はおよそ新暦の11月になるから、今日の天気はまさに「小春日和」といって良いことになる。

さらにその本の注釈には、「小春日和」のことを英米では「インディアンサマー」、欧州では「翡翠(かわせみ)の日」と言うとも。かわせみの羽の色を思い起こしながら、「小春日和」もいけれど「翡翠の日」もまたぴったりの言葉だなあと思う。

定年退職してまもなく10年。「小春」の頃にのんびりとこんな発見に楽しめるのがとても嬉しい。



表紙写真の蘆薈(うんちく)

清水泰律

お正月といえばハボタンですね、まるでバラの花のように華やかですが、観賞しているのは花ではなく葉だったんですね、花は黄色で4～5月頃に咲くそうです。キャベツの仲間、青汁の原料「ケール」の一種とも記述されていました。ここ祝園駅前広場の花壇は当センターが管理しています。共同作業者のJA花卉部会の方とともに11月下旬～12月上旬にハボタンに植え替えをしています。今回は11月22日に作業が行われました。デザインは毎年変わります、楽しみにされている方も多いと思います。祝園駅の事です、開業されたのは、1898年(明治31年)6月4日、今年で116年です。